

flamme

フランメ

ワンダフルいわてライフ情報紙 「flamme」はドイツ語で「ほのお」を表します。
盛岡ガス株式会社 ホームページ <http://www.morioka-gas.co.jp>

第 21 号



■仙北町駅 大正4年建造 当時立憲政友会総裁だった原敬への陳情が実って建設された。

啄木が盛岡で最初に住んだのは、仙北町。母方の伯父の家に寄宿していました。場所は現在の仙北町駅にほど近い街道沿いです。大正4年(1915年)にできた仙北町駅を啄木は見ることはありませんでした。しかし、この駅舎

は明治四十五年四月十三日に、東京小石川で亡くなりました。享年二十六歳。そして、その短い生涯のうち、盛岡高等小学校へ入学した九歳から、漁民に戻つて代用教員となる二十歳までの約十一年間を盛岡で過ごしています。それは、まさに啄木の青春時代。今も人々を惹き付ける啄木の歌。それを育んだ盛岡での啄木の足跡をたどります。

■盛岡市立下橋中学校校門に掲げられた校章 上が盛岡高等小学校のもの。



■啄木・牧水 友情の歌碑
啄木「教室の窓より遞げて／ただ一人／かの城址に寝に行きしかな」
牧水「城あとの／古石垣にみもたれて／聞くともなき 波の遠音かな」

盛岡
Morioka
シアワセ
歳事記

石川啄木青春の

故郷を愛した天才歌人



木の歌と共に、啄木の最期を見取った友人・若山牧水の歌が刻まれています。東京で啄木の臨終を見取ったのは、妻節子と父一楨、そして若山牧水の三人でした。午前九時半、幼い娘の京子は庭で桜の花びらを拾って遊んでいたと、後に若山牧水は「石川啄木の臨終」の中で書いています。朝に見舞っていた金田一京助は、啄木の容態が一時落ち着いたのを見て勤め先に出かけていて、立ち会うことはできませんでした。

さて、啄木は高等小学校卒業後、12歳で岩手県盛岡尋常中学校(後の盛岡中学・県立盛岡一高)に入学。バルコニーを持つ白いペ

ンキ塗りの洋風の校舎は白堜城とも呼ばれ、盛岡城址にも近い現在の中央通り、岩手銀行本店付近にありました。明治36年(1903年)には、ドイツ製のスチーム暖房や稻の実りをイメージした外壁を持ち、浅緑と淡黄のペンキが塗られた岩手県庁も建ち、周囲は近代的なムードにあふれていたこと

思います。学生時代のことを後に詠んだ歌、

不來方のお城の草に寝ころびて
空に吸はれし

十五の心

盛岡の中學校の
露臺の

欄干に最一度我を倚らしめ

これらは、今でも啄木の青春歌として、多くの人々に愛誦されています。

啄木が通った盛岡高等小学校の場所にありました。ここは啄木の親友、金田一京助の母校でもあります。現在の下橋中学校の校門には、下橋中学校の校章に加えて高等小学校時代の校章も掲げられ、この学校の歴史を物語っています。そして、近くに建つ歌碑には、啄

明治34年(1901年)、14歳の啄木は、級友たちと英語の学習会「ユニオン会」を結成します。当時から中学内のストライ

キ事件に加担するなど、社会派であった啄木のメンバーは、翌年起きた「八甲田山遭難事件」を報じた岩手日報号外を街頭で販売、その益金を足尾銅山鉱毒事件の被害農民に義援金として送る活動を行っています。

そして、明治38年（1905年）、13歳の時に出会った堀合節子と結婚。といつても、これが有名な「花嫁のいない結婚式」となってしまうのです。帷子小路（現・中央通3丁目）の借家に用意してあつた祝言の席に東京からの列車で向かっていたはずの啄木は、何故か仙台で途中下車をしてしまいます。そ

の後3週間も経つて盛岡に戻った啄木は、この新婚の家で3週間を暮らし、その後一家は加賀野の借家に移つていくのです。

ここで啄木は文芸誌「小天地」を発行します。この「小天地」の表紙にあるケシの花のイラストをモチーフとして造られたのが、中津川の上の橋上流にかかる富士見橋の欄干です。ここからはその橋の名の通り、「南部富士」とも呼ばれる、啄木の愛した岩手山がよく見えます。

当時、啄木がよく散歩をしたという盛岡の鎮守の森の代表格、盛岡天満宮にやつてきました。啄木が愛した狛犬。この不思議な顔をした狛犬一対は、啄木の歌作意欲を大いに刺激したようです。

現在、狛犬の台座には、

夏木立中の社の石馬も
汗する日なり
君をゆめみむ

などの歌が刻まれています。周囲の杉木立、そして岩手山をよく見渡せるこの境内の霧

圍気は、啄木のふるさと、渋民の寺の霧圍気によく似ています。この日も、この

ことを思い起こさせるように、静かに鳥が鳴いていました。

平成23年4月13日、啄木が育つた渋民の

宝徳寺では例年と同じように、百回目の「啄木忌」の法要が営まれました。例年と違っていたのは、法要が3月11日に東日本を襲った大震災の犠牲者への默祷から始まることです。故郷をあんなに愛した啄木を想うことは、故郷の景色を失つた三陸沿岸の人々の気持ちを思うことにも通じます。世界中の誰もが心を持っている故郷への想いをつなげることが、被災地の力になると信じます。夕暮れの岩手山には、茜色の美しい一筋の雲がかかっていました。

ふるさとの山に向ひて
言ふことなし
ふるさとの山はありがたきかな



■盛岡天満宮の狛犬、啄木が「石馬」と呼んだ愛嬌のある狛犬は、たくさんの歌のモチーフとなっている。



盛岡ガスからのお知らせです

■ ガス安全点検にお伺いします。

ガスをより安全に、安心してお使いいただくために、盛岡ガスでは盛岡ガスサービスに委託して、定期的にお客さまのガス設備、ガス機器等の検査にお伺いしています。検査作業は15分程度ですので、ご協力をお願いします。

*この検査で料金をいただくことはありません。

● 平成23年5月からの検査地区

盛岡ガスのホームページをご覧くださるか、盛岡ガスサービスまでお問い合わせください。

盛岡ガスホームページ：

<http://www.morioka-gas.co.jp>

盛岡ガスサービス株式会社：019-621-7701

営業時間：月～金 8時半～17時



読者のおたより

読者のみなさまから、うれしいお便りをたくさんいただいています。

■前号のシアワセ歳時記で外国人の方が言っていた「地元の人はなかなか足元の歴史には興味持ってくれないもの」という言葉に、なるほど！と思いました。地元にもこんなに素敵な所があるので、ぜんぜん知らないことをしていたんだなあ、と思いました。（女性・38歳）

■年末にかけて県内では大雪による停電のニュースが流れました。オール電化の住宅はどうしているんだろうと気になりました。我が家は台所・お風呂はガスだから大丈夫！照明はキャンプ用の電灯で、と考えたら、安心できました。（女性・35歳）

大きな地震が起きたとき!

マイコンメーターの赤ランプが点滅していませんか。

1 地震で揺れているときに、あわててコンロの火を止めようとすると、ヤケドなどのけがをする危険があります。まずは、テーブルなどの下に身を隠し、できれば座布団や雑誌などで頭部を保護しましょう。

2 揺れがおさまったら、ガス機器の火を止め、電気器具のコードはコンセントから抜きましょう。

3 ガス漏れの疑いもありますので、ガス臭くないか、十分に確認してください。ガス臭い・ガス警報機器が鳴るなどの異常があるときは、窓やドアを開け換気して、換気扇や照明など電気スイッチにはさわらないで、すぐ盛岡ガスにご連絡ください。

盛岡ガス株式会社
TEL.653-1241(代)

4 3月11日の大地震、そして4月7日の余震によって、ガスが止まつたご家庭も多いと思います。これは、大きな地震の際、自動的にガスの供給をストップする安全装置付きのマイコンメーターが各ご家庭に設置されているためです。マイコンメーターがガスを止めている場合、マイコンメーターの赤ランプが点滅しています。

楽しJ街の探偵団

つまり、「この擬宝珠は元々中の橋の欄干にあったものだが、明治43年9月3日の洪水で橋が壊れたので、橋を直した際に下の橋に移した。」ということなのです。明治43年(1910)の洪水とは、ちょうど百年前、台風が前線を刺激したことによる大雨が川の街盛岡を襲い、市内の全ての橋が落橋、多くの家屋が流失し、多数の死者を出すという、壊滅的な大災害のことです。この洪水をきっかけとして、明治政府は北上川の治水事業を開始したと言われています。今、盛岡で起こった大水害の記憶を伝えるこの擬宝珠を、防災意識への警鐘として見直すとともに、今回の震災による沿岸各地の津波による犠牲の方々に默祷を捧げたいと思います。

5 マイコンメーターの復帰方法は次のとおりです。

復帰ボタンのキャップを左に回し、キャップを外してください。



6 復帰ボタンを奥までしっかりと押して、赤ランプが点灯したらすぐに手を離してください。ボタンは元に戻り、赤ランプは再び点滅します。キャップは必ず元通りに取り付けてください。



7 約3分間、ガス漏れがないかを自動的に確認しますので、ガス機器を使わないでください。3分経過後に、再度マイコンメーターをご確認いただき、赤ランプの点滅が消えていれば、安心してガスを使えます。

*ガス栓の閉め忘れやガス機器の止め忘れがあった場合は、もう一度⑤からの手順に従って、操作してください。

*それでも正常に復帰しない場合や、不明な点がある場合は、盛岡ガスにご連絡ください。

*マイコンメーターには他の種類もございます。説明書をご覧いただくか、盛岡ガスまでお問い合わせください。



此擬宝珠元中橋
欄干之物明治四
十三年九月三日
洪水破橋今茲改
築之際轉用之下
橋
大正元年十一月
盛岡市

「盛岡の大水害」を伝える擬宝珠

中津川にかかる上の橋の擬宝珠(きぼうしゅ)。約四百年前、城下町盛岡が造られるのとほぼ同時に取り付けられたもので、盛岡のシンボルとも言えるものです。ところで、擬宝珠の付く橋が盛岡にはもう一つあるのをご存知ですか。そう、下の橋です。そして、その一番お城寄りの擬宝珠をよく見ると、こんな文字が彫り込まれていることに気づきます。

炎のプロに聞く エンジョイ・クッキング

県内一の老舗精肉店が提供する本物の味
焼き肉レストラン 肉の米内

明治32年（1899年）創業、県内で一番歴史のある精肉店「肉の米内」。そして、隣接するレストランで提供される極上の和牛を使った焼き肉、スープのおいしさで有名なこだわりの冷麺は、盛岡だけでなく全国的にファンが多いこ



■一人前の冷麺の元となるもの。片栗粉7~8割、小麦粉2~3割の粉に少しの重曹と塩を加え熱湯で練る。それを丸めて寝かせておき、注文の度に製麺して茹で上げるという、こだわりの自家製麺。

■極上黒毛和牛！品評会で金賞・銀賞などをもらった牛を一頭貰い！そんな極上肉も、隣の精肉店では普段と変わらない価格で提供しているとのこと。「いつも来てくださるお客様に喜んでもらいたいから」と米内さん。



■牛脂は、白いブロックではなく、肉から削ぎ落とした脂の部分を使ってください。和牛の脂を肉にしみ込ませるように焼くのがコツ。どんなお肉でも格段においしくなります。フライパンに塗ったニンニクは、ニンニクが嫌いな人でも大丈夫なほど、いい隠し味になります。ソースの代わりに塩こしょうでもOK。和牛の脂をいただくためには、普段からお肉屋さんと仲良くなれておくのが最大のコツですね！

とも知られています。今日は、そのおいしさの秘密をぜひお聞きしようと、お腹をすかせてお邪魔しました。

「いい水、そしていい材料！それだけだ。」

そう言い切るのは三代目オーナーの米内正己さん。なんと「肉の米内」の冷麺は、麺・スープ・キムチなど全てが自家製。しかも化学調味料等は一切無添加のスジが通った逸品です。そして、それらを調理する水は、近くを

流れる中津川より更に深い、10メートル以上からの地下
水を使って
いるとのこ
と。近くに
は、やはり
いい地下水
を使つて
造りをして
いる菊の司
という酒蔵
もあります。
盛岡のいい
水を使うこ
とが、「肉の

米内」の基本なのですね。

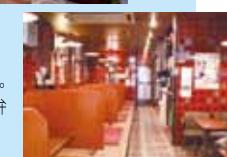
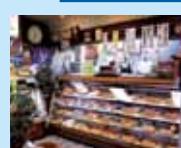
「肉にもいろいろあるけれど、前沢牛など一級品の黒毛和牛がおいしいのは当たり前。もちろん高い。でも一度はこういう丁寧に育てられた肉も食べてみて欲しいね。」ということでいただきました、黒毛和牛…さつとあぶった美しい霜降りの肉は、柔らかくて肉そのものの旨味があります。本当においしい！食べることの喜びつてこういふことを言うんだじょうね。

「えうそう。美味しいもん食べる時には、人間って瞬きしないの。私はそういうお客様の顔を見るのが本当に楽しみなんですよ。」確かにその通り。瞬きせず、無口になつて居る自分に気づきます。（笑）

「だから、三陸の震災で食べ物がないという話にはもう黙つていられなくてね。今は盛岡の食肉組合の会員が毎日、肉70キロと中華麺800食を運んで交代で炊き出しをしています。私も富古や釜石に行って来たけれど、焼き肉を本当に喜んでくれてね。その顔を見るところちも本当に嬉しくなりましたね。」

これからも組合の役員として、募金活動や被災地の食肉店の復興支援も行う予定とのこと。こういった活動が各分野でどんどん広がり、県民みんなで被災地を支えていきたいものです。

言葉ではみんなが知つてゐる「食べる」との大切さ」を、手間を惜しまず実践する。そして、それが人の身体と心を健康で豊かなものにするつながっているのでしよう。74歳とは思えないパワフルな米内さんと、美味しい焼き肉・冷麺にたくさんの元気をいただいたひとときでした。



肉の米内

盛岡市紺屋町5-16

■電話：019-624-2967

■定休日：第2・第4木曜日

■営業時間：11:30～14:30

17:00～24:00

■駐車場あり

■お薦めメニュー

- 極上霜降りロース 2100円
- 極上カルビ 1900円
- ロース 1300円
- カルビ 1000円
- 牛タン 1000円
- 冷麺 850円など
- ホルモン・ステーキ・各種定食もあります。
- 隣の精肉店では、肉の他にお惣菜やお弁当なども扱っています。

flame フランメ 第21号 盛岡ガス通信

平成23年5月1日発行

発行 盛岡ガス株式会社 フランメ編集部
〒020-0066 盛岡市上田2-19-56

TEL: 019-653-1241 (代表)

FAX: 019-653-3335

次回発行予定は9月です。お楽しみに。